

複式5・6年 国語科学習指導案

Ⅲ組 第5学年 男子3名 女子5名

第6学年 男子4名 女子3名 計15名

指導者 栗山 義人

1 単元 要旨をとらえよう (教材「サクラソウとトラマルハナバチ」光村5年上) 文章を読んで、自分の考えをもとう (教材「生き物はつながりの中に」光村6年上)

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

(第5学年)

この期の子どもたちは、「段落のつながりに気をつけて読もう」で中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を読み取る能力を身に付けている。また、事実と意見との関係を考えて文章を読もうとする態度も身に付けている。さらに、筆者の考えを読み取り、それを表現したいという願いをもっている。

そこでここでは、文章構成に着目しながら、要旨をとらえる能力を高めるとともに、要旨を相手に分かりやすく伝えようとする態度を身に付けさせたいと考え、本単元「要旨をとらえよう」(教材「サクラソウとトラマルハナバチ」)を設定した。

この学習は、代表的な例を基に要旨をとらえ、自分の考えを明確にして表現しようとする「文章を読んで、自分の考えをもとう」の学習へと発展するものである。

(2) 指導の基本的な立場

教材「サクラソウとトラマルハナバチ」は、サクラソウやトラマルハナバチを取り巻く生き物の関係を基に、植物と昆虫の共生・共進化を題材にした説明文である。自然を守るには、環境全体の「つながり」を守っていくことが必要であるということに気付かせてくれる。また、「問題提起」→「問題の解明」→「まとめ」という明快な構成でできているため、接続語や文末表現を手がかりに、文章構成を把握し、要旨をとらえるのに適した教材である。

そこで、各段落の接続語や文末表現などから、文章構成を意識させながら、要旨をとらえさせることが必要である。

具体的には、まず、異学年合同で2つの教材名から内容の予想をして、生き物やつながりに関する共通点から、それぞれの教材に対する興味・関心を高める。そして、それぞれ教材文を読み取り、互いにまとめたことを伝え合うという単元の目標を設定していく。

次に、それぞれの教材文を学年別で読み取らせていく。

そこではまず、直観段階での要旨をとらえさせる。そして、筆者の考えを支える根拠や理由付けの仕方について話し合い、文章構成を把握した上で、要旨をとらえさせる。

さらに、終末では、異学年合同でまとめたことを紹介し合っ、それぞれの学習に対する成就感や達成感を味わわせたい。

(第6学年)

この期の子どもたちは、「要旨をとらえよう」で要旨をまとめる能力を身に付けている。また、まとめた要旨を基に、自分の考えを深めようとする態度も身に付けている。さらに、自分の考えを明確にして表現したいという願いをもっている。

そこでここでは、要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながら読む能力を高めるとともに、要旨を基に、自分の考えをまとめて、相手に分かりやすく伝えようとする態度を身に付けさせたいと考え、本単元「文章を読んで、自分の考えをもとう」(教材「生き物はつながりの中に」)を設定した。

この学習は、代表的な例を基に自分の考えを明確にして発信しようとする「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」の学習へと発展するものである。

教材「生き物はつながりの中に」は、イヌを生き物の代表的な例として取り上げ、ロボットと比較することで、生き物の特徴を解説した説明文である。生き物は、時間的・空間的な「つながり」の中において、常に変化しつつも自分であり続ける存在であるということに気付かせてくれる。また、「問題提起」→「問題の解明」→「まとめ・筆者の考え」という構成でできているため、要旨をとらえ、それを基に自分の考えをまとめるのに適した教材である。

そこで、要旨をとらえさせた上で、筆者の考えに対する自分の考えをまとめさせることが必要である。

そこでは、直観段階での要旨や自分の考えをもたせる。そして、筆者の考えを支える根拠や理由付けの仕方について話し合い、文章構成を把握した上で要旨をとらえさせ、自分の考えをもたせる。

このように要旨をまとめ、相手に分かりやすく伝えることを言語活動として重点化した学習を展開することで、異年齢集団のかかわりを重視でき、互いに学びを深め合うことになると考える。

このように要旨を基に、自分の考えをまとめ、相手に分かりやすく伝えることを言語活動として重点化した学習を展開することで、異年齢集団のかかわりを重視でき、互いに学びを深め合うことになると考える。

(3) 子どもの実態（調査人数及び調査方法 5・6年生 計15名 質問紙法）

本学級の子どもたちが、本単元の学習についてどのように受け止め、どのような興味や関心を持っているかを調査した結果は次のとおりである。（数字は、人数を示す。）

項目	第5学年	第6学年
感想① 初発の	<ul style="list-style-type: none"> ・サクラソウの生態への着目(7) ・サクラソウとトラマルハナバチの関係への着目(6) ・生き物全体の関係への着目(4) ・環境問題への着目(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物の素晴らしさへの着目(5) ・イヌとロボットの違いへの着目(4) ・過去や未来へのつながりへの着目(2)
主張② 筆取りの 者の読の	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いにつながり合っている。(5) ・サクラソウとトラマルハナバチは、お互いにぴったりのよい協力者である。(2) ・自然破壊はいけない。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どれだけ生きてることが素敵か。(6) ・生き物とロボットは違う。(4) ・自分以外の全てとつながっている。(2)
の③ 理要 解旨	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている。(1) (回答：筆者が言いたいことを中心) ・知らない。(7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている。(6) (回答：大切な部分、伝えたいこと) ・知らない。(1)
把握④ 成文 の章	<ul style="list-style-type: none"> ・内容から構成を把握している。(4) ・「問題提起」→「問題の解明」→「まとめ」の構成を把握している。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容から構成を理解している。(3) ・「問題提起」→「問題の解明」→「まとめ・筆者の考え」の構成を理解している。(3)
語⑤ 句難	<ul style="list-style-type: none"> ・風物詩 ・生活周期 ・群生地 ・受粉 ・開花 ・利益 ・築く ・養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質 ・アミノ酸
活⑥ 動学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・サクラソウとトラマルハナバチの関係(5) ・人との関係(2) ・他の生き物どうしとの関係(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えの発表(4) ・要旨の整理(3) ・他の生き物の調べ学習(2)

サクラソウの生態や他の生き物へのつながりに着目している子どもが多いことから、自然に対する意識の高さが伺える。(①) 一方、要旨とは何か不明確であったり、筆者の主張の根拠や理由付けに着目していなかったりすることから、要旨のとらえが十分ではないことが分かる。(②, ③) また、文章構成の把握が十分でないことから、各段落の要点を考えさせたり、図を用いて構成を考えさせたりする必要がある。(④) 難語句として挙げられた言葉については、補足説明をしたり、国語辞典を引かせたりする必要がある。(⑤) さらに、生き物の関係について考えたいという思いを生かした活動を展開する必要がある。(⑥)

生き物の素晴らしさやイヌやロボットの違いに着目している子どもが多いことから、生き物に対する意識の高さが伺える。(①) 一方、違いだけに着目し、つながりについて着目している子どもは少ないことから、要旨という言葉は知っていても要旨はとらえられていないことが分かる。(②, ③) また、文章構成の把握が十分でないことから、各段落の要点を考えさせたり、図を用いて構成を考えさせたりするなど、5年時の学習を想起させながら進める必要がある。(④) 難語句として挙げられた言葉については、補足説明をしたり、国語辞典を引かせたりする必要がある。(⑤) さらに、学習を進める際は、筆者の主張の根拠や理由付けに着目させていく必要がある。(②, ⑥)

(4) 指導上の留意点

ア 筆者の考えを読み取らせるために、「なぜ野生のサクラソウは、全滅の危機に陥ったのだろうか」という課題意識をもたせながら読み進めていくようにする。

ア 筆者の考えに対する自分の考えをもたせるために、「生き物であることは、本当に素晴らしいことなのだろうか」という課題意識をもたせながら読み進めていくようにする。

イ 要旨をとらえさせるために、接続語や文章構成に着目させながら、各段落の要点や中心文を抜き出させ、つなげていくようにする。

イ 自分の考えを明確にさせるために、キーワードを明らかにして要旨をとらえさせ、自分の考えをまとめさせる。

ウ 自分や友達の読みの高まりを振り返らせるために、直観段階での要旨と、根拠や理由付けに着目して読み取った後の要旨とを比較させる。また、学習に対する成就感や達成感を味わわせるために、異年齢集団での発表や意見交流の場を設定する。

エ 両学年が生き物やつながりの共通点を見出し、互いにまとめたことを紹介し合うという目的で学習している意識を高めるために、単元の同時導入・同時終末を取り入れていくようにする。

3 目 標

- | | |
|---|--|
| <p>(1) 自然界の事象に関心をもち、筆者の考えを明らかにしようとしながら読むことができる。</p> <p>(2) サクラソウとトラマルハナバチの関係を中心とした自然界の共生関係を、複数の根拠を図等にしながら考えることができる。</p> <p>(3) ア 文章構成を把握し、読み取った内容から要旨をとらえることができる。</p> | <p>(1) 自然界の事象に関心をもち、筆者の考えに対しての自分の考えを明らかにしようとしながら読むことができる。</p> <p>(2) 生き物の特徴を代表的な例から推論する理由付けをしながら図等に表して、生き物に対する自分の考えをもつことができる。</p> <p>(3) ア 文章構成を把握し、筆者の考えを読み取り、自分の考えをもつことができる。</p> |
|---|--|
- イ 異年齢集団での発表や意見交流の場で、5年生は、要旨を分かりやすく伝え、6年生は、要旨を基に自分の考えをまとめて、相手に分かりやすく伝えることができる。

4 指導計画（全6時間）

過程	学習課題・主な学習活動（第5学年）	学習課題・主な学習活動（第6学年）
つかむ・みとおす	<p>1 題名から想像される内容や知っていることを発表する。</p> <p>題名や初発の感想から単元のめあてを決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 題名からの内容の想像 ・ 初発の感想発表 ・ 生き物やつながりに関するこれまでの経験（学習経験や生活経験）等 	<p>どんなつながりがあるか知りたいな。それを紹介し合ったら楽しそう。</p>
	<p>「サクラソウとトラマルハナバチ」の筆者の考えを友達に分かりやすく紹介しよう。</p>	<p>「生き物はつながりの中に」の要旨をもとにして、自分の考えを友達に分かりやすく紹介しよう。</p>
	<p>2 「サクラソウとトラマルハナバチ」を読み取る。</p> <p>(1) 直観段階での要旨の吟味</p> <p>筆者が言いたいことは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物のつながりへの着目 ・ 自分の考えの明確化 ・ 接続語への着目 <p>(2) 事例の関係付けの理解（本時）</p> <p>サクラソウとトラマルハナバチは、どのようなつながりがあるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サクラソウとトラマルハナバチの関係の理解 ・ 問題提起文の効果の理解 <p>(3) 複数の事例の関係付けの理解</p> <p>トラマルハナバチは、なぜ姿を消してしまったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の生き物との関係の理解 ・ 接続語の効果の理解 <p>(4) 要旨のまとめと同学年での相互評価</p> <p>読み取ったことをもとにして、要旨をまとめよう。</p>	<p>2 「生き物はつながりの中に」を読み取る。</p> <p>(1) 直観段階での要旨の吟味</p> <p>筆者が言いたいことは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物のつながりへの着目 ・ 主張に対する自分の考えの明確化 ・ 接続語や文末表現への着目 <p>(2) イヌを代表例にした理由付けの理解（本時）</p> <p>生き物は、ロボットにはないどのようなつながりがあるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロボットと生き物のイヌの違いの理解 ・ 他の段落の役割の理解 <p>(3) 筆者の主張の意図や効果の理解</p> <p>筆者は、なぜ人間の話を入れているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「あなた」という言葉への着目 ・ 最終段落の役割の理解 <p>(4) 要旨のまとめと同学年での相互評価</p> <p>要旨をもとにして、自分の考えをまとめよう。</p>
①	<p>3 要旨のとらえ方の振り返り、異学年での相互評価</p> <p>「サクラソウとトラマルハナバチ」や「生き物はつながりの中に」の学習でまとめたことを紹介し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要旨のとらえ方やまとめ方に関する気付きへの価値付け、称賛 <p>互いの発表や意見交流で、生き物につながりがある理由や根拠がよく分かった。</p>	
しらべる・ふかめる		
④		
ふりかえる		
①		

5 本 時 (3 / 6)

(1) 目 標

サクラソウとトラマルハナバチのつながりに
ついて、事例を関係付けながら説明することが
できる。

生き物のもつつなぎについて、イヌの代表
例を理由付けながら説明することがで
きる。

(2) 本時の展開に当たって

両学年とも、つながりが述べられている文章のみに着目するのではなく、文章の構成を把握させることが大切である。そこで、ガイド学習を中心にして、互いの考えを交流させるとともに、5年生は問題提示文の必要性、6年生は同じに見えるという説明の必要性について問い、その理由を明らかにさせながら展開していく。

(3) 実 際

主な学習活動 (第5学年)	教師の位置 (分)	主な学習活動 (第6学年)
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>サクラソウとトラマルハナバチは、 どのようなつながりがあるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてのキーワードは、「つながり」だね。 きっと強いつながりがあると思う。 	5	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>生き物は、ロボットにはないどのよ うなつながりがあるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてのキーワードは、「つ ながり」だね。 たくさんつながりがあると思う。
<p>2 学習の進め方を確認する。</p> <p>一人調べ→発表→話し合い→まとめ→音読</p>		
<p>3 サクラソウとトラマルハナバチのつ ながりについて話し合う。</p> <p>サクラソウ トラマルハナバチ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>[開花の時期]</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の花より少 し早くさく。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>[くらし方]</p> <ul style="list-style-type: none"> 時期に合わせた くらし方をする。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>[花の形]</p> <ul style="list-style-type: none"> 深いところに みつをためる形 になっている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>[体のつくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> 長い舌がある。 </div> </div> <p>(こうして)ぴったりの、よい協力者</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>なぜ、すぐにつ ながりを説明す ればいいのか、 筆者の問いかけ があるのだろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>読み手を引き つけ、何を述べ るかがはっきり するから。</p> </div> </div>	4 5 10 8	<p>3 教材文を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで段落ごとに音読する。 <p>4 生き物のもつつなぎについて話し 合う。</p> <p style="text-align: center;">本物のイヌ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>外との つなが り</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>一つの個体 としての つながり</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>過去の生き物 たちとのつな がり</p> </div> </div> <p>(この)つながりこそが、生き物の生き 物らしいところ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>なぜ、すぐにロ ボットとの違いを を説明すればいい のか、同じに見え ることを説明して いるのだろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>読み手を引き つけ、読み手も 考えながら読む ことができるか ら。</p> </div> </div>
<p>4 本時の学習についてまとめる。</p> <p>長い時間をかけてお互いの利益にな るように体の形を変えたり、生活周期 を調整したりしてきたつながりがある。</p>	8	<p>5 本時の学習についてまとめる。</p> <p>外とのつながり、一つの個体として のつながり、過去の生き物たちとのつ ながりがある。</p>
<p>5 教材文を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで段落ごとに音読する。 		
<p>6 本時の学習をふり返り、友達の発表 等のよかったところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> やっぱり強いつながりがあったことが分かった。(強固) 一つの段落だけでなく、他の段落のことも考えると筆者の考えがよりはっきりするね。(付加) これからは、筆者の問いかけに対しての答えを探すようにしたらよい。(修正) 	5	<p>6 本時の学習をふり返り、友達の発表 等のよかったところを話し合う。</p>